

不燃スパンドレル

耐震制震 床基礎の気密断熱 遮熱透湿防水 開口住設備 換気システム 換気器具材 スパンドレル 浴室水廻り 点検口枠 防鼠下地材 内装建材 養生保安 外装建材 左官資材 乾式・重床 システム昇 床仕上げ材 その他

不燃スパンドレル特性

不燃スパンドレル

不燃スパンドレル特性

■一覧表 (JIS K-6786に準ずる) ※データは測定値であり保証値ではありません。 日本総合試験所及び当社試験室

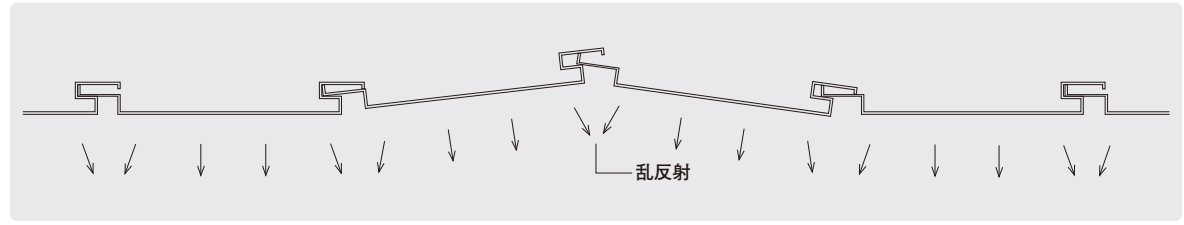
	熱変形 (mm)	曲げ強さ (kgf)	たわみ率 (mm)	熱貫流率 (Kcal/m ² hr°C)	重量 (kg/m ²)
マルチスパンMSF-200・ウッドマルチスパンWMF-200	-0.58	29.7	1.63	2.41	1.7
マルチスパンMSR-200・ウッドマルチスパンWMR-200	0.69	59.4	1.33	2.68	1.9
マルチスパンMSN-200・ウッドマルチスパンWMN-200	-0.34	28.6	1.73	2.41	1.7
ハードスパンHSF-200	0.05	89.5	1.39	-	5.0
ハードスパンHSR-200	-0.47	195.6	0.74	-	4.9
ハードスパンHSN-200	1.00	100.1	0.38	-	5.0

■耐薬品性能 ○…変化なし △…若干の変色がある

酸・アルカリ(1hリング後に水洗いして変色確認)			洗剤関連(24h時計皿接触後に水洗いして変色確認)			食品関係(24h時計皿接触後に水洗いして変色確認)		
	マルチスパン ウッドマルチスパン	ハードスパン		マルチスパン ウッドマルチスパン	ハードスパン		マルチスパン ウッドマルチスパン	ハードスパン
3%塩酸	○	○	マジックリン	○	△	しょうゆ	○	○
5%水酸化ナトリウム	○	○	マイベット	○	○	ソース	○	○
多硫化アンモニウム	○	○	カビキラー	○	△	紅茶	○	○
			キッチンハイター	○	○	コーヒー	○	△
						食酢	○	○
有機溶剤(24h時計皿接触後に水洗いして変色確認)			その他(24h時計皿接触後に水洗いして変色確認)			オリーブ油	○	○
	マルチスパン ウッドマルチスパン	ハードスパン		マルチスパン ウッドマルチスパン	ハードスパン	からし	○	○
ホルマリン	○	○	次亜塩素酸ナトリウム	○	○	カレー	○	○
トルエン	△	△	塩化ベンザルコニウム	○	○	食紅	○	○
ベンジン	△	○	事務用インク	○	△	天ぷら油	○	○
灯油	○	○	口紅	○	○			
エチルアルコール	△	△						

下地について

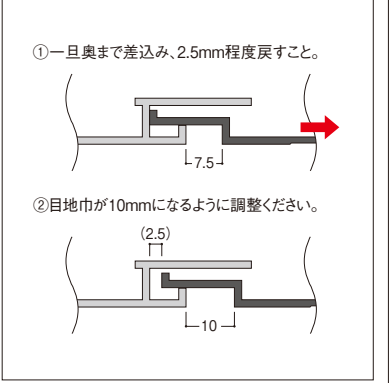
下地のレベルが正確でない、又はビスの締めすぎ・ゆるみなどでスパンドレルが水平でない状態になると乱反射により、色むらに見える場合があります。ご注意ください。



注意 施工時のご注意

- ロットにより色調、光沢にばらつきが生じる場合があります。ご了承ください。
- 軽量鉄骨下地材はメーカーによって「形状」「厚み」「寸法」が異なりますので、使用する下地を事前に確認してください。
- 本品は軽量鉄骨下地に直で取り付けます。そのため、軽量鉄骨下地を組む際には、野縁ピッチを設計通りとなるように組んでください。(屋内天井:360mm程度、軒天:特記による)
- 軒天使用時には風圧荷重がかかります。そのため下地を含めた強度を確認頂き、必要であれば耐風圧用天井下地材をご使用ください。
- 温泉では、酸・アルカリ濃度や含有物質によって腐食の恐れがあります。そのため、温泉成分を確認いただき、使用可能かどうかを営業担当までお問合せください。
- 製品の搬送時は、必ず手で持ち運んでください。肩乗せして運ぶこと、不安定な片持ちをすることは厳禁です。
- 製品の施工時には軍手を着用してください。
- 施工時の汚れが残らないように、切り粉・手垢・汗・汚れ等が付着した場合は、速やかに除去してください。
- 本品を下地に取り付ける際には、軽量鉄骨用のビス(軽天ビス)を使用してください。
- 本品を浴室の天井材として使用する場合には、「防湿納まり」を推奨します。
- 施工を開始する前に墨出しをして、施工割付を確認してください。

目地調整について



施工後のメンテナンスについて

- ☞ きれいな状態を長持ちさせるのに1番大切なのは日頃のお手入れです。水洗い程度で結構ですので、こまめに実施してください。日頃のお手入れを怠りますと、こびりついた汚れが落ちにくくなり、カビ発生の原因となります。
- ☞ 水洗いで落ちない場合は、アルコール、またはベンジンをういて拭き取り、その後速やかに水洗いをしてください。
- ☞ 研磨剤入り洗剤・金属タワシ等の使用は避けてください。表面の塗装を傷つける恐れがあります。

